

平成27年度当初予算のポイント

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

社会経済のグローバル化や少子高齢化が進展する中、変化の激しい時代に生きる子どもたちには、基礎的な学力に加え、さまざまな課題に対して、自ら考え判断し主体的に対応していく力や、周囲と共に支えあい、新しい社会を創造していく力が求められています。また、こうした力の育成に加え、いじめや体罰の防止、児童生徒の安全・安心の確保など、学校だけでは対応が困難となっている課題の解決に向けて、学校の組織力を高めるとともに、家庭や地域と一体となって取り組む必要があります。

このような認識のもと、平成27年度は、次の5項目について重点的に取り組むこととし、予算編成にあたりました。

(1) 学力の向上

平成26年度全国学力・学習状況調査結果の厳しい状況を踏まえ、市町教育委員会と危機感を共有し、学校において着実に学力の向上を図る体制を構築するとともに、子どもたちが「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」を実感できるよう、教職員の授業力の向上と地域の教育力を活用した取組の充実を図ります。

平成24年度からスタートした「みえの学力向上県民運動」の集大成として、「成果発表県民大会」を開催し、学校・家庭・地域が一体となって一層の展開を図ります。

(2) グローバル人材の育成

グローバル三重教育プランに基づき、子どもたちが、自らの考えを発信し課題解決に向けて取り組む機会の充実を図るとともに、小学校段階からの英語教育の充実や英語使用環境の創出等の取組を進めることにより、将来のグローバルリーダーとして主体的に行動する力の育成や英語コミュニケーション力の向上を図ります。

(3) 特別支援教育の充実

早期からの一貫した教育支援体制や特別支援学校の施設の整備を図るなど、障がいのある子どもたちの自立と社会参画に向けた取組を進めるとともに、今後の三重県における特別支援教育のあり方を示す「三重県特別支援教育推進基本計画（仮称）」に基づき、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育をハード・ソフトの両面から総合的に推進していきます。

(4) 子どもの体力向上

子どもたちの運動習慣、生活習慣、食習慣の改善を総合的に推進するとともに、運動部活動の充実・支援及び平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催準備を進めることにより、学校における体育・スポーツ活動を普及・振興し、子どもたちが生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てます。

(5) 安心して学ぶことができる環境づくり

いじめや不登校等の学校現場における課題を解消するため、スクールカウンセラー等を学校へ効果的に配置・派遣するとともに、子どもたち自らの危機回避能力を高める取組や、学校における防災教育・防災対策の強化などを図ることにより、子どもたちが安心して学べる環境づくりを推進します。

2 主な重点項目

(1) 学力の向上

① みえの学力向上県民運動推進事業【新しい豊かさ協創1】 3,690千円

子どもたちの学力向上の取組方策について、様々な視点から幅広く議論するため、「みえの学力向上県民運動推進会議」を開催します。また、県民運動の4年間の取組を交流・発信し、学力向上の取組を一層充実するため、「成果発表県民大会」を開催します。

さらに、「まなびのコーディネーター(56名)」が、地域の教育力を活用し、子どもたちの学びを地域で支える「みえの学び場」づくりを推進します。

② (一部新)「確かな学力」を育む総合支援事業【新しい豊かさ協創1】 56,877千円

学力の定着と向上を図るため、県内すべての公立小中学校において全国学力・学習状況調査、「みえスタディ・チェック」、ワークシートの活用を推進します。

また、各学校が調査結果や課題解決の取組等を、家庭・地域に公表、説明し、学校・家庭・地域が一体となり、児童生徒の学習意欲を引き出す環境づくりを推進します。

特に、実践推進校には、少人数指導を支援するための非常勤講師の配置や、学力向上アドバイザー(5名)の派遣等により、授業改善等にかかる取組を充実します。

さらに、中学生を対象とした「科学の甲子園ジュニア」三重県予選の実施を通じ、子どもたちの科学技術に対する関心を高め、科学好きの人材の裾野を広げます。

③ 少人数教育推進事業【新しい豊かさ協創1】 1,319,285千円

国の制度による小学校1年生の35人学級編制のもと、本県独自の取組である小学校1、2年生での30人学級(下限25人)及び中学校1年生での35人学級(下限25人、実情に応じて2年生あるいは3年生に弾力的に振替可)を継続するとともに、国の定数を活用し、引き続き小学校2年生の36人以上学級の解消を図ります。

また、小中学校において、ティーム・ティーチングや習熟度別など学力向上に向けた少人数授業などを実施するための教員配置(小学校:定数40人、非常勤185人、中学校:定数12人、非常勤50人)を継続し、各学校の実情に応じた学力向上の取組を支援するなど、きめ細かな教育を推進します。

④ 教職員の授業力向上推進事業【新しい豊かさ協創1】 12,104千円

教職員個々の専門性やスキルを向上させるとともに、経験年数の異なる教職員が相

互に学び合う継続的な授業研究を実施し、教職員の授業力の向上を図ります。また、授業研究を中心とした校内研修の活性化など学校の組織力向上に向け、中核的な人材の育成に取り組みます。さらに、若手教員個々の教育課題に応じた複数年にわたる学びの機会を設定することで、実践的指導力の向上を図ります。

⑤ 土曜日等の教育活動推進事業【新しい豊かさ協創1】 4,057 千円

学校における土曜授業の充実を図るため、効果的なカリキュラムの開発、外部人材等の活用を支援するとともに、その成果を普及します。

また、大学生や教員経験者、地域住民等の参画により、土曜日等に教育支援に取り組む仕組みをつくり、体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援します。

⑥ 地域による学力向上支援事業【新しい豊かさ協創1】 9,069 千円

大学生や教員経験者、地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組みをつくり、授業の補助や放課後の学習支援など、子どもたちの学力向上に取り組む市町を支援します。

また、学校と地域住民等をつなぐコーディネーター等への研修や、事業成果の共有と普及のための成果報告会等を実施します。

⑦ (新)名張新高等学校創設準備費 83,005 千円

平成28年4月に開校する名張新高等学校で必要となる設備・備品の整備や、ICT機器等の学習環境の整備を行います。

(2) グローバル人材の育成

① 高校生グローバル教育推進事業【新しい豊かさ協創1】 30,118 千円

グローバル化が急速に進展する中、高校生が日本人・三重県人としてのアイデンティティを持ちながら、グローバルな視野に立って自らの考えや意見を適切に伝えるとともに、異なる文化・伝統に立脚する人々と共生できる能力・態度を身につけられるよう、若者のネットワークの構築、留学の促進、英語キャンプの開催、ICTを活用した双方向授業の研究等を進めます。

② 小学校における英語コミュニケーション力向上事業

【新しい豊かさ協創1】 9,899 千円

子どもたちの英語コミュニケーション能力を効果的に育成するために、小学校における発達段階に応じた英語指導モデルの構築と普及・啓発に継続して取り組みます。

③ グローバル教育教職員研修推進事業【新しい豊かさ協創1】 2,967 千円

小学校における英語教育の中核となる教員及び中・高等学校の英語教員について、英語教育推進リーダー中央研修の内容の確実な普及を期すとともに、「グローバル三

重教育プラン」に基づく英語指導力、児童生徒の課題解決力、コミュニケーション力を育成する指導を行うための教職員の実践的指導力にかかる研修を実施します。

④ (一部新)「志」と「匠」の育成推進事業【新しい豊かさ協創1】 12,978千円

高等学校における理数教育、英語教育、職業教育の充実を図るため、指定校において、大学・企業と連携した各種セミナーの開催や三重県高等学校科学オリンピック大会の開催、コミュニケーションを重視した英語教育に関する指導方法の工夫改善、高度な技術習得や資格取得に向けた指導法の開発、国際科学オリンピックを目指す生徒の支援等に取り組むとともに、それらの成果をとりまとめ、他の高等学校にも普及します。

⑤ (新)全国産業教育フェア実行委員会支援事業 18,330千円

全国の職業系専門学科、総合学科等で学ぶ生徒が一堂に会して、産業教育に係る学習の成果を発表する全国産業教育フェア三重大会(平成27年10月31日、11月1日)を開催します。

⑥ 「ふるさと三重」郷土教育推進事業 3,756千円

豊かな心や郷土への愛着と誇りを持ち、三重県について自信をもって発信できる児童生徒の育成をめざし、教材「三重の文化」、「ふるさと三重かるた」及び郷土の文化財等の効果的な活用を進めます。

また、教材「三重の文化」が、授業等で一層活用されるよう、「三重県 心のノート」や「ふるさと三重かるた」の活用促進とも合わせた取組を市町教育委員会と連携して進めます。

(3) 特別支援教育の充実

① 早期からの一貫した教育支援体制整備事業【緊急課題解決6】 24,290千円

発達障がいを含むすべての障がいのある幼児児童生徒について一貫した支援を行うため、パーソナルカルテの活用を促進するとともに、発達障がい支援員(5名)による巡回相談等を実施し、高等学校での支援体制の充実を図ります。また、特別支援教育連続講座(シードプロジェクト)の実施や特別支援学校のセンター的機能を活用し、教員の専門性の向上を図ります。

② 特別支援学校就労推進事業【緊急課題解決6】 17,495千円

企業経験豊かな外部人材として、キャリア教育マネージャー(1名)及びキャリア教育サポーター(6名)を配置し、生徒の可能性や強みを企業に提示する提案型の職場開拓を行うとともに、関係部局、企業、NPO等との連携を進めます。また、特別支援学校において組織的・系統的なキャリア教育を推進するため、職業に係るコース制導入の拡大や早期からの職場実習の実施、生徒本人の適性と職種のマッチングの促進や企業等と連携した技能検定を実施します。

③ 特別支援学校教育内容充実事業 1,019千円

「三重県特別支援教育推進基本計画（仮称）」に基づく特別支援学校の整備を円滑に進めるため、市町等関係機関及び特別支援学校を訪問し、情報共有と連携を図ります。

また、三重県こども心身発達医療センター（仮称）に併設する特別支援学校の開校に向けて、特別支援学校のネットワークを活用した発達障がいに係る効果的な支援体制を構築し、教員の専門性の向上を図るため、専門家を交えた研究協議を実施します。

④ 特別支援学校施設建築事業【緊急課題解決1】【緊急課題解決6】 605,257千円

特別支援学校の整備や、屋内運動場等の天井等落下防止対策、既存施設の老朽化対策など教育環境向上のための整備等を進めます。

(4) 子どもの体力向上

①（一部新）平成30年度全国高等学校総合体育大会開催準備事業 33,575千円

平成30年度に東海ブロックで開催する全国高等学校総合体育大会で、本県は大会の幹事県として、総合開会式及び15種目を開催します。

そのため、関係機関・団体との連絡・調整を行い、本県準備委員会を設立して開催準備を円滑に推進するとともに、組織をさらに拡大した本県実行委員会を設置します。

また、環境整備が必要な高校運動部活動の備品等の整備を進め、より一層本県の運動部活動を活性化します。

② 子どもの体力向上総合推進事業 8,237千円

子どもの体力向上をめざし、運動習慣、生活習慣、食習慣を総合的に形成する学校の取組を促進します。

学識経験者や学校関係者等からなる「子どもの体力向上推進会議」を開催し、子どもの体力向上と生活習慣改善に向けた取組を検討します。

また、体力向上の指導・助言を行う体力向上推進アドバイザー（2名）を小学校に派遣するとともに、体育・スポーツを学ぶ高校生を体力向上サポーターとして小学校等に派遣し、体育の授業等への支援を行います。

さらに、「みえ子どもの元気アップフェスティバル」を開催し、子どもの体力向上に関する気運の醸成を図ります。

③ 学校体育充実事業 8,826千円

学校における体育・保健に関する指導を充実させるため、小・中・高・特別支援学校の体育担当教員を対象に研修会等を開催し、教員の指導力向上を図ります。

また、中学校保健体育における武道・ダンス指導の課題を解決するため、専門性を有する地域の人材を外部指導者として中学校に派遣し、安全に配慮した効果的な武道・ダンスの授業が行われるよう学校の取組を支援します。

- ④ **運動部活動充実事業** 20,594千円
運動部活動を充実させるため、高等学校の運動部活動に、地域のスポーツ指導者を外部指導者として派遣します。
また、スポーツ医科学等の先進的な知見を有する外部指導者の活用により、中・高等学校の運動部活動における指導の工夫改善を進めるとともに、教員や外部指導者を対象とした研修会等の開催により、指導者の指導力向上を図ります。

- ⑤ **運動部活動支援事業** 122,263千円
中学校・高等学校の県大会・東海大会などの開催に係る経費を負担するとともに、中学校・高等学校の全国大会等に参加する生徒の派遣に要する経費の補助、及び引率教員の旅費を支給することにより、学校教育活動としての運動部活動の充実を図ります。

(5) 安心して学ぶことができる環境づくり

- ① **スクールカウンセラー等活用事業** 221,846千円
子どもの貧困対策をはじめ、不登校やいじめなどの問題行動等に対応するため、専門的知識や経験を有する臨床心理士等をスクールカウンセラーとして142中学校区（小学校294校、中学校142校）及び県立学校36校に配置を進めます。また、社会福祉等の関係機関とのネットワークを活用して援助を行うスクールソーシャルワーカー（8名）を効果的に派遣します。
- ② **学びの環境づくり支援事業【新しい豊かさ協創1】** 25,724千円
いじめや不登校等の課題を解決し、子どもたちの学びを保障するための環境づくりを推進していくため、中学校区を単位として重点的に取り組む地域（15中学校区）にスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実・活性化を図ります。（当事業によるスクールカウンセラー配置校：小学校44校、中学校15校）
- ③ **学びを保障するネットワークづくり事業【新しい豊かさ協創1】** 6,934千円
教育的に不利な環境のもとにある子どもの自尊感情や学習意欲の向上を図るため、いじめなどの背景にある課題を解決し、未然に防止するための地域連携の仕組みとして「子ども支援ネットワーク」を構築します。また、「子ども支援ネットワーク」構築の要となる「子ども支援ネットワークづくり」推進教員を、実践的場面や研修会・交流会等とおして育成します。
- ④ **(一部新) インターネット社会を生き抜く力の育成事業** 8,045千円
小中学校を対象とした「ネット検定」の結果に基づいた指導をすることで、児童生徒の情報モラルの向上と倫理観の育成、情報リスクの理解等を向上させます。さらに、ネット利用のルール等について議論する「高校生サミット」を開催し、ネット社会を生き抜く力の育成を推進します。併せて、全公立学校を対象としたネット

の検索、監視等を引き続き行います。

⑤ 学校防災推進事業【緊急課題解決1】 **20,007 千円**

南海トラフ地震や局地的大雨等による大規模自然災害の発生に備え、学校における防災教育・防災対策の充実を図るため、防災ノートの配布及び内容の見直しの検討、学校防災リーダー等を対象とした研修、防災タウンウォッチング等の体験型防災学習の支援、宮城県との交流事業等を実施します。

⑥ 校舎その他建築事業【緊急課題解決1】 **1,248,223 千円**

県立高等学校の施設について、屋内運動場等の天井等落下防止対策、既存施設の老朽化対策など教育環境向上のための整備等を進めます。

